

今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2015年8月6日]

8月の農業情報

タイトル 輪ギク農家に炭酸ガス施用への関心が高まる

とき 平成27年7月14日(火)

ところ 田原市赤羽根町

主体・対象 JA愛知みなみ輪菊部会若手生産者(41名)

内容

JA愛知みなみ輪菊部会が、環境制御をテーマに勉強会を開催した。

管内では、環境制御に関心の高い農家で3年前に炭酸ガス施用機が入り、現在17戸が導入している。農業改良普及課では、導入農家とともに効果的な炭酸ガス利用方法についての研究会を立ち上げ、施設内環境のデータ分析や収量調査などの取り組みを支援してきた。その結果、収量や品質が落ち込む冬季でも高い成績を収める事例も見られるようになった。

そこで、輪菊部会から一般の生産者にもこの成果を周知したいという要請があり勉強会を開催した。農業改良普及課が炭酸ガス施用による冬季の高収量・高品質栽培の優良事例を報告し、経済連は光合成の仕組みや環境モニタリング機器の紹介を行った。

参加者は、炭酸ガスの施用で冬季の収量が高まる事などを実感し、今後、輪ギクで炭酸ガス施用機器の普及が進む可能性が出てきた。農業改良普及課は、今後さらなる高収量・高品質に向けた取り組みを支援していく。



勉強会の様子